



— えべつ市民カレッジ・道民カレッジ連携講座 —

2026「ふるさと江別塾」

市と市内四大学の連携協力により、大学が保有する専門的知識と人材を活用し、充実した学習機会の場として、「ふるさと江別塾」を開講します。

各回先着100名・受講料無料

【申込方法】9月1日（火）から各回の10日前までに、Web フォーム、FAX、電話でお申込みください。

※電話の受付時間は平日の9時から17時までです。



第1回

10月10日（土）

開講式 9:15～9:30

講義1 9:30～11:00

講義2 11:10～12:40

北翔大学

会場／7号棟2階 722教室

小学生のかばんが重いと何が起ころ？
— 子どもの健康への影響と保護者の思い —

教育文化学部 教授 野口 直美 氏

トークセッション：ニューロダイバーシティと不登校

企画：江別子どもの居場所ニーズ調査グループ

教育文化学部 准教授 本阿彌 はるな 氏 教授 澤 聡一 氏

第2回

10月17日（土）

講義1 9:30～11:00

講義2 11:10～12:40

札幌学院大学

会場／江別キャンパス B館1階 B102教室

ミュージカル『キャッツ』の原点：詩人が猫に託した「秘密の手紙」

人文学部 教授 中村 敦志 氏

日本の人的資源管理

経済経営学部 准教授 黄 昕 氏

第3回

10月31日（土）

講義1 9:30～11:00

講義2 11:10～12:40

北海道情報大学

会場／校舎棟1号館 106教室

あなたの知らない人工知能の世界

総合情報学部 システム情報学科 教授 長尾 光悦 氏

今年で成人になる「えべチュン」の話

総合情報学部 システム情報学科 准教授 棚橋 二郎 氏

第4回

11月7日（土）

講義1 9:10～10:40

講義2 10:50～12:20

閉講式 12:20～13:00

酪農学園大学

会場／中央館 学生ホール

幼児期の食育：「食べない」「時間がない」を行動科学で解決

農食環境学群 食と健康学類 准教授 杉村 留美子 氏

動物愛護フェスティバル in えべつ 2026 開催報告

— 「動物との共生」を、江別のまちから

獣医保健看護学類 助教 村上 義樹 氏

市民カレッジ学位授与式

<主 催> 江別市・江別市教育委員会

※えべつ市民カレッジ受講シールは、1講義ごとにお渡しします。

※閉講式に合わせ、市民カレッジの学位認定者に終了証の授与式を行います。

※全8講義の受講者には閉講式で修了証をお渡しします。

お申込みは江別市教育委員会生涯学習課（江別市高砂町24-6）

TEL 381-1062 FAX 382-3434

e-mail: shogaigakushu@city.ebetsu.lg.jp

<講義内容>

第1回

10月10日(土)

北翔大学

江別市文京台23番地（地域連携センター）

電話011-387-3939

会場／7号棟2階 722教室

講義
1

9:30~11:00

小学生のかばんが重いと何が起こる？ — 子どもの健康への影響と保護者の思い —

教育文化学部 教育学科 教授 野口 直美 氏



【講義内容】小学生のかばんの重さはたびたび問題視されていますが、抜本的な解決には至っていません。そこで、令和6年度江別市大学連携調査研究事業として実施した調査結果をもとに、子どもの通学負担の軽減について皆様と考えたいと思います。かばんの重さは単なる「荷物の問題」ではなく、子どもが心身ともに健康で、安心して自分らしく生活し、幸せを感じながら成長できる「ウェルビーイング」に関わる課題として捉えることが大切と考えます。

【プロフィール】北海道教育大学大学院教育学研究科修了。道内の高等学校5校で養護教諭として、がん教育、性教育、メンタルヘルスなどの健康教育の実践に取り組んだ後、令和3年に北翔大学へ着任。現在は、がん教育や高等学校のいじめ問題に関わるとともに、子どものウェルビーイングの向上を目指した性教育等健康教育について研究。また、NPO北海道思春期支援ネットワークの世話人として思春期の健康課題に関するセミナーを開催し、その活動は22年になる。

講義
2

11:10~12:40

トークセッション：ニューロダイバーシティと不登校

企画：江別子どもの居場所ニーズ調査グループ

教育文化学部 准教授 本阿彌 はるな 氏 教授 澤 聡一 氏



【講義内容】近年、不登校の増加とともに、一人ひとりの特性に応じた多様な学びのあり方が注目されています。本講座では、ニューロダイバーシティ（神経多様性*）の視点から、乳幼児期からの子どもの育ち、一人ひとりに合わせた環境の整え方について考えます。さらに、江別市での調査成果をもとに、家庭・学校・地域における居場所づくりをテーマにトークセッションを行います。子どもの多様な学び方・育ち方を尊重する社会について、一緒に考えてみませんか。

*神経多様性：発達障害にみられる脳や神経の特性を「障害」ではなく、人間の多様性の一部として尊重し、個々の強みを社会で活かしていこうとする考え方

【プロフィール：本阿彌 はるな 氏】お茶の水女子大学卒業後20年余り、発達支援や子育て支援に携わり、2026年4月に北翔大学に着任。北海道大学大学院修士課程修了。専門は発達心理学、研究関心は心理職の発達の多様性について。公認心理師・臨床心理士。

【プロフィール：澤 聡一 氏】北海道大学卒業後、九州大学大学院博士後期課程を単位修得満期退学。教育・福祉分野を主なフィールドとし、居場所や多機関連携による不登校支援や、青年期の家族支援などに取り組んでいる。公認心理師・臨床心理士。



第2回

10月17日(土)

札幌学院大学

江別市文京台11番地（教育支援課）

電話011-386-8111（代表）

会場／江別キャンパス B館1階 B102教室

講義
1

9:30~11:00

ミュージカル『キャッツ』の原点：詩人が猫に託した「秘密の手紙」

人文学部 教授 中村 敦志 氏



【講義内容】劇団四季の札幌公演に感動された方も多いことでしょう。世界中で愛されるこのミュージカルは、原作者T・S・エリオットが、子ども向けに書いた詩をもとにしています。しかし実は、その背景には、ある女性へ宛てた「手紙」の存在がありました。なぜエリオットは、後に一篇の詩を書き加えたのでしょうか。本講座では、映像や翻訳を用いながら、名作の裏側に隠された「創作の謎」を、皆様と一緒に楽しく解き明かしていきます。

【プロフィール】兵庫県出身。甲南大学大学院博士課程単位取得。1987年に札幌学院大学へ着任。カリフォルニア大学バークレー校客員研究員を経て現職。人文学部長を務める（2026年3月までの4年間）。専門はアメリカ文学、特に詩。大学の授業では、文学作品と映画を比較するアプローチを取り入れ、物語の魅力を学生とともに考えている。【研究分野】アメリカ文学と映画、アメリカ詩など

講義
2

11:10~12:40

日本の人的資源管理

経済経営学部 准教授 黄 昕 氏

【講義内容】近年、日本では少子高齢化や人手不足、働き方改革などを背景に、「人」をどのように活かすかが企業経営の重要な課題となっています。本講座では、企業にとって最も重要な経営資源である「人」に焦点を当て、人事労務管理から人的資源管理へどのように変化してきたのかについて解説します。また、日本企業がこれまで大切にしてきた終身雇用や年功序列といった日本的経営の特徴を分析するとともに、アメリカ企業との違いにも触れながら、これからの働き方や組織のあり方について考えます。

【プロフィール】2018年3月に大阪大学大学院経済学研究科経営学専攻博士後期課程を修了し、博士（経営学）を取得。同年4月より札幌学院大学に着任し、現在は経済経営学部経営学科准教授。【研究分野】人的資源管理、組織行動など

第3回 10月31日(土)

北海道情報大学

会場／校舎棟1号館 106教室

江別市西野幌59番地2（総務課）
電話011-385-4412

講義
1

9:30~11:00

あなたの知らない人工知能の世界

総合情報学部 システム情報学科 教授 長尾 光悦 氏



【講義内容】人工知能は今、驚くほどの速さで進化し、私たちの生活や社会を大きく変え始めています。本講座では、人工知能がなぜここまで進化したのか、その仕組みや最新技術を専門知識がなくても分かるように解説します。さらに、最新の人工知能による身近な活用事例を交えながら、その可能性と課題、未来の暮らしへの影響について紹介します。「知っているようで知らない人工知能の世界」を楽しく学べる講座です。

【プロフィール】北海道大学大学院工学研究科システム情報工学専攻博士後期課程修了後、北海道大学情報基盤センター助手などを経て、北海道情報大学に赴任。現在に至る。観光情報学、人工知能、複雑系工学、システム工学などの研究に従事。観光情報学会、情報処理学会、人工知能学会などに所属。

講義
2

11:10~12:40

今年で成人になる「えべちゅん」の話

総合情報学部 システム情報学科 准教授 棚橋 二郎 氏



【講義内容】2008年、異業種交流会のつながりを通じて学生さんと共に誕生させた「えべちゅん」。今年の10月4日で18歳になります。ここまで続けてこられたのは、えべちゅんを愛し続けて頂いた市民の皆様のおかげです、厚く御礼申し上げます。本講座では、いわゆる「ゆるキャラブーム」の中で、ひこにゃん世代の一角として奮闘した時代から現在までの活動を振り返り、ご当地キャラクターの運営に関する話、また着ぐるみの着方なども実演します。

【プロフィール】専門はご当地キャラクター…ではなく組込みシステム工学、えべちゅんと同じ2008年よりETロボコン実行委員会の委員としてロボコンを主催している。2013年より野幌若葉小学校にてプログラミング授業を開始、現在は野幌中学校区全校3~6年生に毎年授業を実施している。1999年北海道情報大学経営情報学研究科修了（経営情報学修士）、2001年より現職。こどもの誕生と共に江別へ移住、10歳と1歳のこどもと妻、猫と共に野幌在住。

第4回 11月7日(土)

酪農学園大学

会場／中央館 学生ホール

江別市文京台緑町582番地（社会連携課）
電話011-388-4131

講義
1

9:10~10:40

幼児期の食育：「食べない」「時間がない」を行動科学で解決

農食環境学群 食と健康学類 准教授 杉村 留美子 氏



【講義内容】子どもの食事で困りごとはありませんか？本講座では幼児期の発達段階に合わせ、行動科学で食卓を変えるコツを解説します。偏食を解決する仕掛けやモデリング効果、共食のメリット、自己効力感を高めるお手伝いや食べる意欲を高める環境づくり等、食べる時間がもっと楽しくなるきっかけとなれば幸いです。栄養バランスのよい簡単レシピも紹介します。※お子様連れ歓迎です！

【プロフィール】管理栄養士。博士（水産科学）。幼児や児童を対象に酪農学園大学管理栄養士コースの学生とともに食育活動を続けている。保護者や幼児教育関係者に対する講演多数。関連学会は日本栄養改善学会、日本食育学会、日本末病学会など。専門は行動科学理論や調理科学を用いた栄養教育に関する研究。

講義
2

10:50~12:20

動物愛護フェスティバル in えべつ 2026 開催報告

—「動物との共生」を、江別のまちから

獣医学群 獣医保健看護学類 助教 村上 義樹 氏



【講義内容】2026年10月4日、酪農学園大学で「動物愛護フェスティバル in えべつ 2026」を開催します。「動物と人の未来を考える～まなぼう、動物との共生～」をテーマに、市民の皆さん・動物愛護団体・学生が集い、学び楽しむ一日となります。本講座では、事務局長として運営に携わった立場から、当日の様子や来場者の声、地域や学生と作り上げた取り組みを写真交えて振り返ります。動物との共生を、江別のまちからどう育てるか、皆さんと一緒に考えます。

【プロフィール】酪農学園大学 獣医保健看護学類 助教。動物看護学を専門とし、研究・教育に取り組む。動物臨床看護学・臨床検査学実習などを担当し、次世代の動物看護師を育てている。「動物愛護フェスティバル in えべつ」では事務局長として運営を担い、北海道盲導犬協会の活動にも協力するなど、地域とつながる活動にも力を注ぐ。好きな動物は猫。人と動物がともに健やかに暮らせる社会づくりを目指している。

閉講式

12:20~13:00

11月7日（土）の閉講式で、市民カレッジ学位の授与を行います。
閉講式で学位の授与を希望される方は、10月17日（土）までに申請してください。

ふるさと江別塾参加申込書＜FAX用紙＞

受講希望講義に✓を付けてください。（複数可）

- ➡ 第1回 北翔大学 10月10日（土）
☐ 講義1 小学生のかばんが重いと何が起こる？
☐ 講義2 トークセッション：ニューロダイバーシティと不登校
- ➡ 第2回 札幌学院大学 10月17日（土）
☐ 講義1 ミュージカル『キャッツ』の原点：詩人が猫に託した「秘密の手紙」
☐ 講義2 日本の人的資源管理
- ➡ 第3回 北海道情報大学 10月31日（土）
☐ 講義1 あなたの知らない人工知能の世界
☐ 講義2 今年で成人になる「えべチュン」の話
- ➡ 第4回 酪農学園大学 11月7日（土）
☐ 講義1 幼児期の食育：「食べない」「時間がない」を行動科学で解決
☐ 講義2 動物愛護フェスティバル in えべつ 2026 開催報告

お申込日	月 日	えべつ市民カレッジ生ですか	はい ・ いいえ
フリガナ		電話番号	— —
お名前			
ご住所	〒 —		

※申込書に記入いただいた個人情報は本事業以外には利用いたしません。

新規「えべつ市民カレッジ」の申込

えべつ市民カレッジ生の申込はされましたか？市民カレッジとは「えべつ市民カレッジ手帳」に受講時に貰えるシールを貼ることで、自分がいつ、どんな講座を受講したのかを記録できます。受講シールが一定数以上になると、その数に応じて、修了証（学位）を受けることができます。

手帳希望の方の方は✓をご記入ください。

☐

生年月日	大正・昭和・平成・西暦 年 月 日 生	Eメール アドレス	〈記入なしでも可〉
------	------------------------	--------------	-----------

申込書送信先／江別市教育委員会生涯学習課（〒067-0074 江別市高砂町24番地6）

FAX 011 - 382 - 3434

会場と最寄りのバス停留所（大学には駐車場あり）

